

明日から使える!?

水産加工業のための ヒント事例セミナー

令和7年6月24日（火）

公益財団法人 水産物安定供給推進機構

水産加工業のためのヒント事例セミナー

- 13：30 開催挨拶 公益社団法人水産物安定供給推進機構
- 13：35 「アシストスーツの活用事例」
ユーピーアール株式会社 アシストスーツG 専任次長 井沢孝之
- 13：45 「アプリを活用した人材確保」
株式会社タイミー 関東事業2部カスタマーサクセス 島田美穂子
- 13：55 「中小企業省力化投資補助金について」
独立行政法人中小企業基盤整備機構 イノベーション助成グループ
- 14：05 質疑応答（10分）
- 14：15 「水産加工業企業力強化支援事業について」
公益財団法人みやぎ産業振興機構 産業育成支援部 事業支援課
水産加工業ビジネス支援室長 菅原武則
- 14：25 「水産会社のM&A事情」
株式会社M&A総合研究所 企業情報第五本部 第二部 部長 森淳基
- 14：35 質疑応答（10分）
- 14：45 「SDGsはビジネスチャンス！～水産資源の有効活用でビジネス開発～
地域の課題「宝の原石」を発掘しストーリー性のある商品開発事例」
ニューホライズンコレクティブ合同会社 金井毅
「商品開発に取り組む事業者の募集」
公益財団法人水産物安定供給推進機構 総括 向井義宣
- 15：15 全体質疑応答・その他



商号

ユーピーアール株式会社 (東証スタンダード 7065)

設立

1979年3月

代表者

代表取締役 酒田義矢

所在地

東京本社 〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル12F
TEL : 03-3593-1730 (代) FAX:03-3593-3020

宇部本社 〒755-0032
山口県宇部市寿町3-5-26
TEL : 0836-31-9020 (代) FAX:0836-31-9022

資本金

9,600万円

売上高

連結154億円 (2024年8月期)

単体145億円 (2024年8月期)

社員数

連結228名 (2024年8月期)

業務内容

- パレット・物流機器のレンタル及び販売事業
- 物流IoT事業
- ICT事業
- アシストスーツ事業
- ビークルソリューション事業
- 海外事業

拠点

デポ | 全国各地約200カ所

営業拠点

- 国内 | 14拠点
札幌・仙台・関東・新潟・東京（第一・第二）、横浜
名古屋・静岡・大阪・岡山・四国・山口・福岡・南九州
- 海外 | 5拠点
タイ（2拠点）・シンガポール・マレーシア・ベトナム

アシストスーツとはパワーアップするものではなく、
補助力が働いて腰への負担が軽減される、
腰を守る保護具です。



脊柱起立筋の活動比率を

最大43%軽減

（自社調べ。効果には個人差あり）

最上位モデル



Bb+PROⅢ

中間モデル



Bb+FITⅡ

快適性重視モデル



Bb+FIT(SLIM)

- ・安価＋超軽量(500～700g)で累計約40,000着の販売実績
- ・製造業では腰痛・腰痛予防対策として定着

① 良い姿勢に導く

フォームナビ機能



独自開発のBb+が、背骨と腰の理想的な姿勢へと誘導します。また、作業時に伴う前かがみの姿勢を抑える事で背中や腰にかかる大きな負担を軽減します。

- ・腰負担軽減の基本は「良い姿勢」
- ・第二の背骨で良姿に導く
- ・釣竿のようなしなりのあるバックボーン
- ・もう一つの体幹で支える
- ・立っているだけでも「楽」

② 高機能な腰ベルト

ランバーサポート機能



腰を安定、保護するための大きなベルトにより背骨と腹筋、背筋を包み込む事で腹圧が保たれ作業時での腰椎や椎間板への負担を軽減します。

- ・蒸れにくい素材
- ・しっかり締付け
- ・ズレ上がり防止すべり止め（FITのみ）
- ・めくれづらい腿部カット

③ 腿ベルトがアシスト力を発揮

マッスル機能

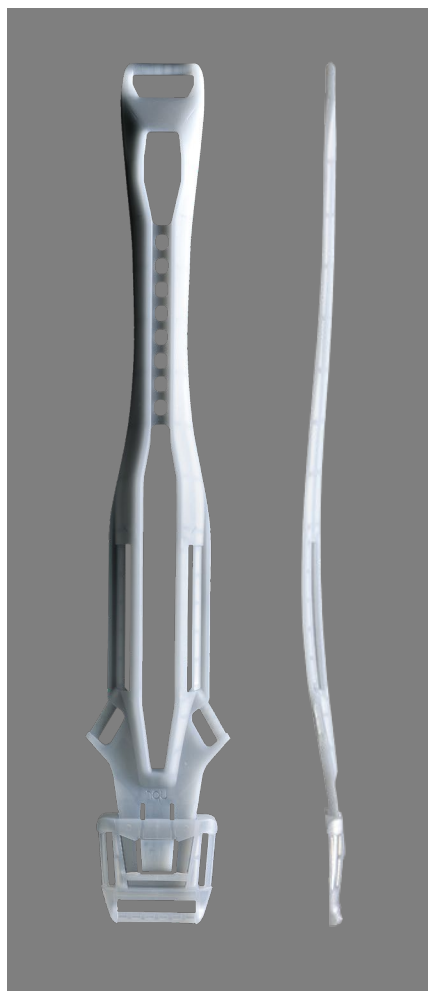


膝から腰にかけて、脚の筋肉補助を目的としたパワーベルトを装着。作業時における前屈姿勢や起き上がりの力を補助し、疲れが軽減されます。

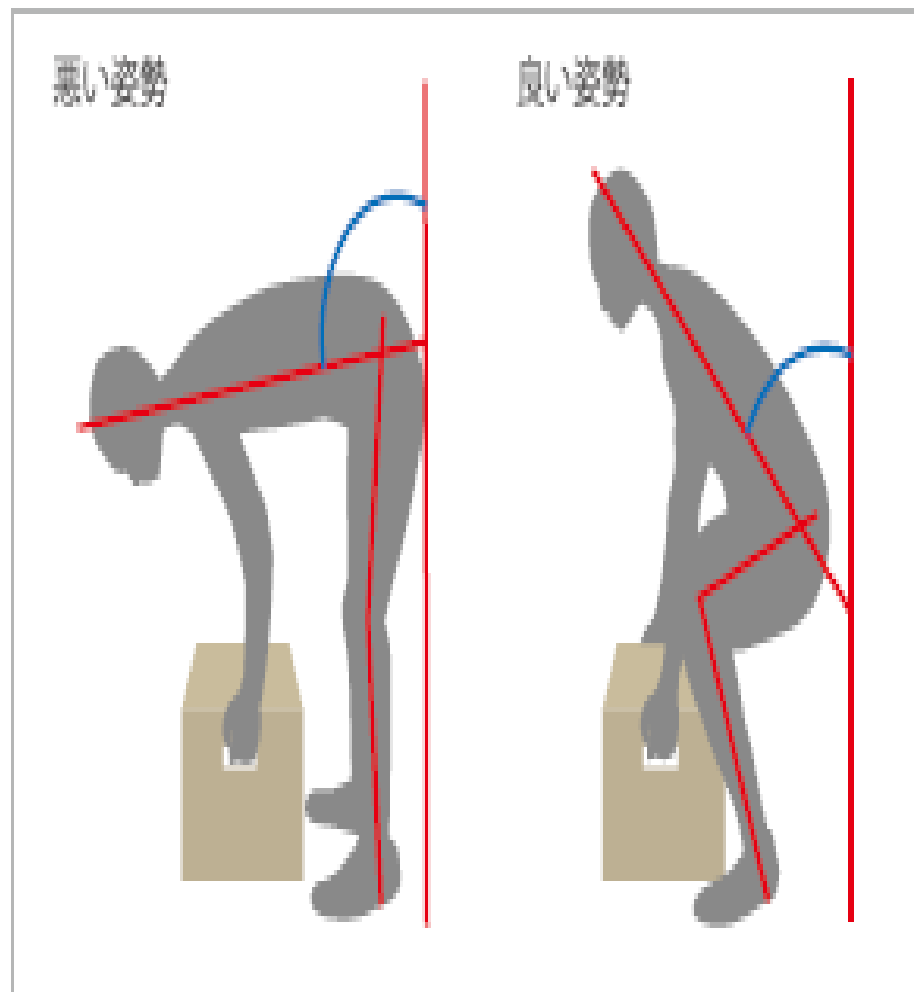
- ・アシスト力を簡単に調整可能
- ・取外しての使用も可能
- ・腿ベルトとひざベルトはパーツ交換可能

『サポートジャケットBb+(バックボーン)』

前かがみ、中腰、しゃがむ
などあらゆる作業姿勢時に
姿勢を良くして腰の負担を
減らす効果を発揮
当社独自の理論に基づいた
非動力型アシストスーツ



悪い姿勢による負荷が椎間板に蓄積されると
→腰痛になる（最大原因の一つ）



金沢大学（共同開発先） 効果検証

<https://www.youtube.com/watch?v=oY2UpzKPpxQ>

エサやりのため、20kgの袋を海上で中腰姿勢で運搬。

「サポートジャケットBb + FIT」の着用により

良い姿勢が保たれるようになり、身体的負担を軽減できた上、

作業効率が向上した。

- ◆ クレーンを用いてパレット単位でエサを船に積み込むとき、風や波で揺れる荷物を支えるため身体に負担がかかっていた。
- ◆ 1袋20kgあるエサ袋を船から海上のエサやり機まで運搬する際の中腰姿勢がつらく感じていた。
- ◆ 20代～30代の若い世代の作業者が将来の腰痛への不安を抱えていたが、対策を取っていなかった。

- ◆着用により良い姿勢が保たれるようになり、身体にかかる負担が軽減された。
- ◆腰を休める時間が減り、作業効率が上がった。
- ◆対策を取ることで腰痛への不安が減った。

サポートジャケットPROⅢ（最強版）紹介

<https://www.youtube.com/watch?v=bqeG5cev0Ms&t=6s>

サポートジャケットBb+FIT/Ⅱ・FIT/SLIM（中位版・下位版）装着説明

<https://www.youtube.com/watch?v=NX0-plsupvl>

――厚労省外郭団体が毎年実施する「エイジフレンドリー補助金」

（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会が実施する補助事業で、60歳以上の高年齢労働者が安全に働けるよう、身体機能の低下を補う設備・装置の導入その他の労働災害防止対策を補助対象とする。

補助率は製品の1／2となり、1施設当たり上限額は100万円（消費税を除く）。

お問い合わせは
こちら



ユーピーアール株式会社 アシストスーツ営業部 担当：井沢



03-6852-8932



pas_info@upr-net.co.jp



ご注意

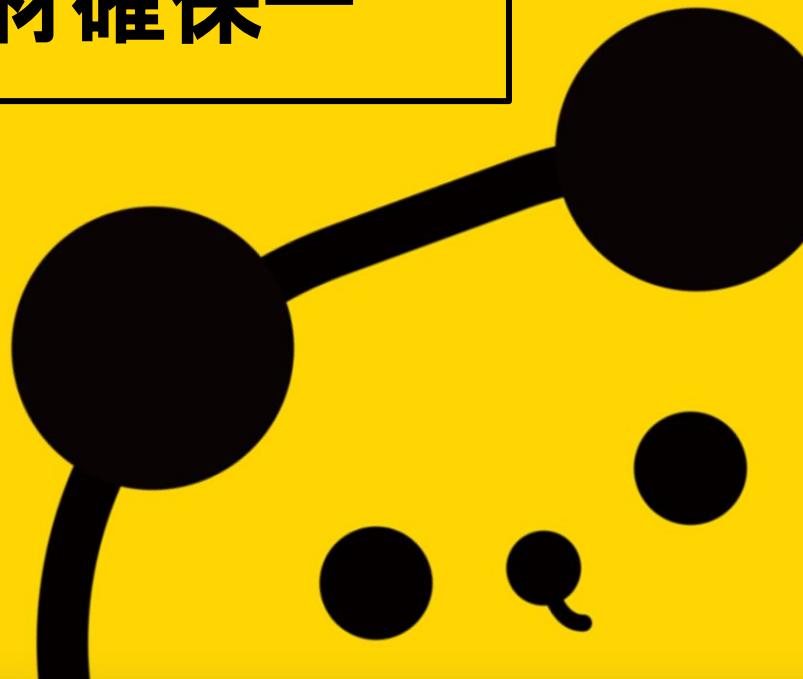
※この資料の無断複写・複製・ノウハウの使用・および他社への開示は禁止させていただきます。
お取り扱いについては十分にご留意ください。

- ・当資料は2025年2月1日現在の情報を基に作成しております。
- ・また、記載されている内容は、現時点の内容になっております。
商品の内容や性能等につきましては、予告なく変更する場合がございます。
予めご承知頂きますようお願い申し上げます。

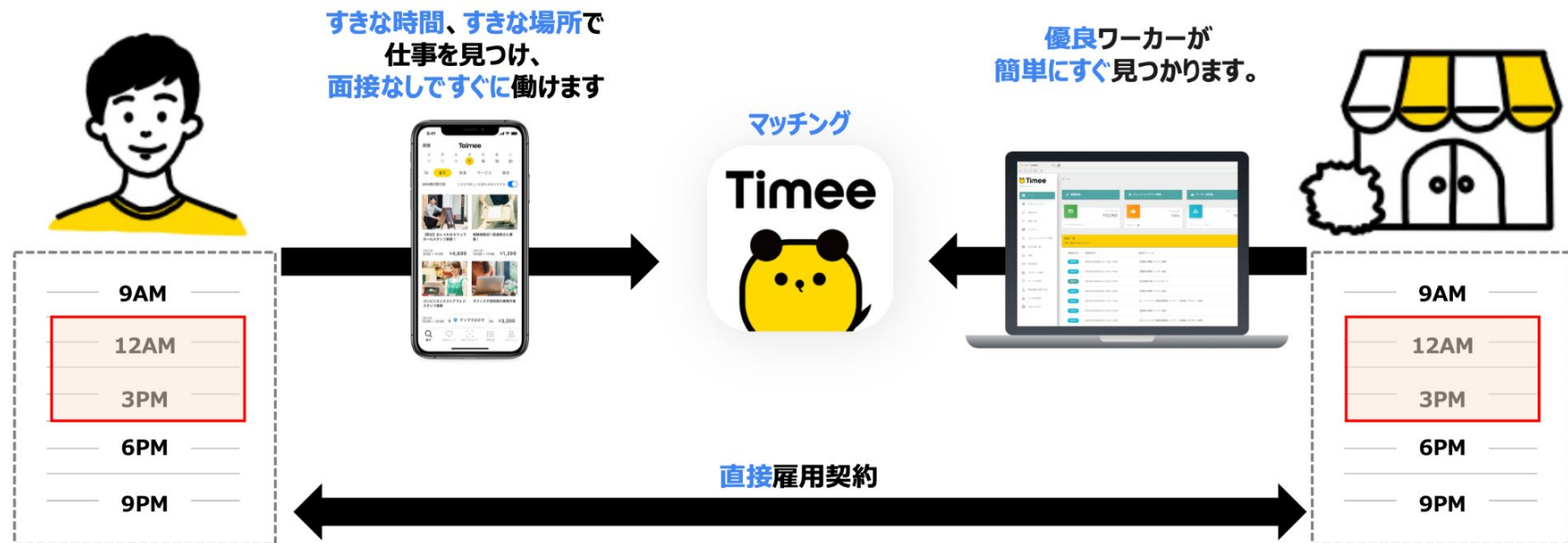
Timee

—アプリを活用した人材確保—

2025.6.24



タイミーは、「働きたい時間」と「働いてほしい時間」をマッチングするスキマバイトサービス。
働いたお金は即日入金 され、企業・ワーカーの双方が気に入れば 採用も可能。(採用による追加料金なし)



豊富な求人数と意欲の高いワーカーの双方が存在することで高い稼働率を実現。さらに募集掲載／教育／労務＆請求対応工数を削減するための機能と担当マーケットを熟知する専任営業による伴走で、貴社の人員課題を解決します。

いつでもどこでも「働く場所がある」からこそ
アクティブなワーカーが集まる

全国で高い稼働率※1

約86%

高いリピート※2

3人に2人がリピーター

導入拠点数※3

369,000拠点以上



ワーカー数※3

1,100万人

スキマバイトアプリ認知度No.1※4だからこそ
働く意欲の高いワーカーが登録

豊富な求人数と
意欲の高いワーカーの
マッチングで
高い稼働率&リピート率

7年以上の実績で築いた
強固なワーカープラットフォーム

ワーカーが必要な時に
必要人数集まる

人員を必要とする他拠点にも利用拡大

充実した機能とサポート体制

<グループ管理機能>

求める能力を満たす方に求人公開することで
受け入れコスト/教育コストを削減

<使いやすい管理画面>

求人の一括掲載・ワーカー管理・評価まで簡易
にでき、募集掲載業務の負荷を軽減

<充実の労務管理機能/請求対応>

雇用契約の電子化/源泉徴収ブロック機能/
個社に合わせた柔軟な請求対応

<全国をカバーする支社体制>

エリアマーケットを熟知した専任営業が導入後
も理想状態の実現に向けサポート

慢性的な人手不足、漁獲量に伴う必要な労働力の確保、属人化している業務、人件費の高騰に対し、

タイミーを導入することで労働力の確保・業務切り分けによる生産性の向上や、人件費・求人広告費の削減が出来る。

タイミーで実現できること

業務の切り出し

- 長期雇用を前提としたマッチングしにくい業務を時間や仕事の単位で細分化
- 弊社ノウハウを活用し、最適な業務割り振りを提案

1時間から働ける 新しい働き方

- 急な人材不足でも人手確保が可能
- 求人媒体ではマッチングしない人員の確保が可能
- 繁忙に合わせて人員を増減可能

自社雇用ツール として活用可能

- ワーカーの中から、**無料**長期採用することが可能
- 働きぶりを見て採用を決められるため、採用ミスマッチが低減

業界の仕事を 知る 機会提供

- 若年層に対し、「お試しバイト」を通じた、水産業界での就労的活動を推進
- 過去に勤務経験のある方が業界に戻るための窓口にもなれる。

水産業界への貢献余地

多様な人材の確保・育成
(他業種からの参入など)

人材の離職防止・定着促進

求人広告費や人件費の削減

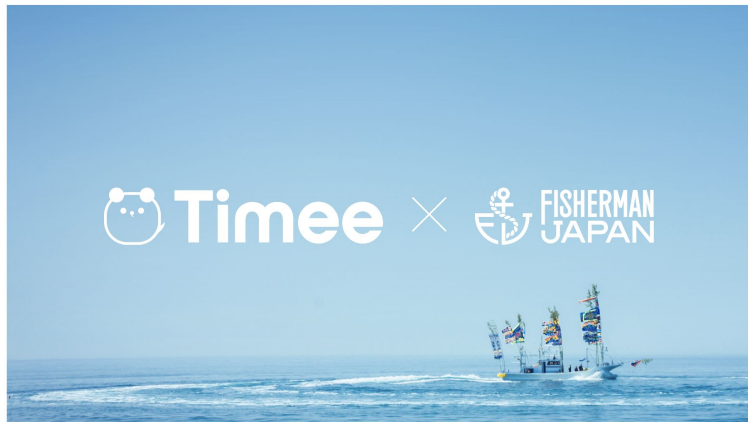
業種	任せている業務内容
飲食店・小売店	ホールスタッフ、調理補助、販売、魚の加工
冷蔵/冷凍倉庫	ピッキング、仕分け、検品、出荷業務の補助（ラップ巻き、シール貼り、増し氷）
市場（卸・仲卸）	仕分け、ピッキング、梱包、魚の加工、魚を紙で包む作業、袋氷の作成
商社・運送	ピッキング、仕分け、検品、出荷業務の補助（ラップ巻き、シール貼り、増し氷）
加工	ホタテの殻から貝柱だけを取り除く作業、ホタテのウロ(黒い部分)を取り除く作業、計量、盛り付け 包丁で切り身等に整形作業、切り身等を粉つけ・調味液つけ作業
漁業	網の検修作業

産地：加工場、市場内、冷蔵/冷凍倉庫などで利用

取り組み内容

Timee

■ フィッシャーマン・ジャパンと業務提携



スキマバイトサービス「タイミー」を提供する株式会社タイミー（所在地：東京都港区、代表取締役：小川 嶺）は、この度一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン（所在地：宮城県石巻市、代表理事：阿部勝太、以下、フィッシャーマン・ジャパン）と水産業の人手不足解消と漁師の新しい働き方の実現に向けて業務提携いたしました。

■ 実際に現場で作業をし、相性の良い業務の見極めも実施 （長崎県対馬にて業務体験実施）



■ 水産業用の活用ガイドBOOK作成



■ 全国各地にて説明会の実施 （協会や組合向け、自治体向け等） ■ 全国各地の事業所様のサポート

■ 各海産物ごとのマニュアルの作成 （北海道洞爺湖にて現場見学実施）



ほしい時間の働き手が、すぐに見つかる。



🔍 タイミー

————— お気軽にご相談・お問い合わせください —————



050-3196-4244



contact@timee.co.jp

機構案内

つないで、ひろがる。



公益財団法人みやぎ産業振興機構は、宮城県における中核的産業支援機関として既存産業の活性化、高度化並びに新産業を創出するため、総合的・一元的な支援を行うことを目的とし、多様なニーズに応えるコーディネート機能を持った総合的産業支援機関です。



公益財団法人

みやぎ産業振興機構

Miyagi Organization For Industry Promotion

昭和29年4月1日

財団法人宮城県工業振興協会として宮城県が設立

昭和42年9月1日

財団法人宮城県企業振興協会に名称変更を行う

平成11年4月1日

財団法人宮城県高度技術振興財団と財団法人東北産業技術開発協会と3社合併し、宮城県の総合的・中核的な産業支援機関として、財団法人みやぎ産業振興機構設立

平成23年11月1日

公益財団法人に認定 現在に至る



公益財団法人

みやぎ産業振興機構

Miyagi Organization For Industry Promotion

【宮城県の産業を活性化する】

これがみやぎ産業振興機構の
ミッションです。

私たちは、人と人を結び企業と
企業をつなぎ、創業・経営革新の
促進、時代をリードする産業群の
創出に取り組んでいます。



公益財団法人

みやぎ産業振興機構

Miyagi Organization For Industry Promotion

水産加工業企業力強化支援事業

1. 目的

つないで、ひろがる。



当県の水産加工業は、復興が進んだ一方、復旧に要した借入金の返済、水揚げ減少、人手不足、消費動向の変化などにより、水産加工業を取り巻く環境は厳しいものとなっていることから、地域の牽引役として成長・発展できる「稼げる」水産加工業モデルの創出を目指します。

(1) 専門家派遣事業

多彩なテーマに応じた 深掘り支援

- ・商品開発、衛生管理、生産性向上、財務分析、販路開拓など

(2) 生産現場改善強化支援事業

ものづくり目線で生産力を強化

- ・年間目標を掲げ、委託事業で現場改善
- ・現場リーダーを育成し、社内定着を推進

(3) 新戦略導入支援事業

より高度な目標に取り組む事業者の集中支援により先導モデルを構築

- ・企業の成長に重要なポイントとなる課題に対して、委託事業により集中支援

＜戦略的な経営に向けたキーワード＞

- ・異業種連携
- ・新分野進出
- ・原価管理
- ・業態転換
- ・DX
- ・デジタル化
- ・SDG s
- ・新商品開発
- ・販路開拓 (国内・国外)
- 等



公益財団法人

みやぎ産業振興機構

Miyagi Organization For Industry Promotion

(1) 専門家派遣事業

【目的】

・水産加工業者に対して当機構の登録専門家を派遣し、指導・助言を行うことで、生産性改善、衛生管理、人材育成、商品開発、販路開拓、デジタル化等の様々な課題解決を支援します。

【方法】

・支援テーマに応じて、都度、専門家を派遣します。

【支援内容】

- ・指導時間：1回あたり3時間程度
- ・指導回数：制限なし
- ・企業負担：1回目は無料、2回目以降は講師謝金及び旅費の合計額の1/3

【手続きの流れ】

派遣要請

ヒアリング

支援決定

派遣

報告書提出

(2) 生産現場改善強化支援事業

【目的】生産現場の作業工程や仕組みを見直すことで、労働生産性の向上や労働者の作業負担の軽減を促進し、人材不足課題の解決や経営革新等の新たなステージに取り組むための企業力を高めていただくことを目的としております。

▶ 支援対象

日本標準産業分類の大分類「E 製造業」に該当し、宮城県内に本社または工場を置くものづくり中小企業者。

※県外に立地する工場は対象外となります。

▶ 支援内容

● 専門家による継続支援

機構と委託契約を結んだ生産現場改善に精通した専門家の派遣を継続的に行います。

● 設備導入等補助金: 補助金交付額＝費用(税抜額)の1/2 以内(上限75 万円)

生産現場改善を進める上で必要な生産設備等の設置・改良や生産ラインの改善に係る経費の一部を補助します。

● 生産現場改善セミナーの開催

ニーズに応じて生産現場の改善に関するセミナーを開催します。

▶ 派遣期間

キックオフ(裏面参照)から成果報告会(翌年2月末)まで。専門家の派遣は概ね月1回程度。

※専門家の派遣終了後も生産現場改善が定着するよう機構内の支援専門員がフォローします。



公益財団法人

みやぎ産業振興機構

Miyagi Organization For Industry Promotion

<カイゼン事例①>サンマ下処理工程（その1）

つないで、ひろがる。



工程 ①ウロコ取り > ②頭取り > ③カット > ④洗浄

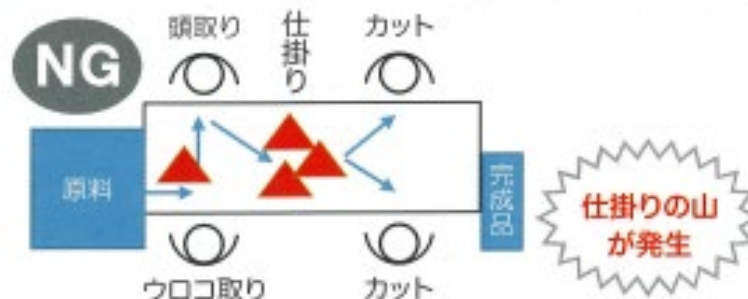
その1 ウロコ取り、頭取り、カットの3工程をそれぞれ別の人が分業

「分業」詳細はP46

着眼点

- 分業をしていると取り置きが増え、仕掛けも発生する。「仕掛け」詳細はP46
- 仕掛けが多いと何度も触ることになる。
- 仕掛けがあると「先入れ・先出し」が難しくなり、品質に影響が出る。

「先入れ・先出し」詳細はP46



工程 ①ウロコ取り・頭取り・カット > ②洗浄

多工程持ちに変更 3工程を1人ですべて行った 「多工程持ち」詳細はP46

効果

- 仕掛けや取置きがなくなり、処理時間を短縮できた。○各々がウロコ取り・頭取り・カットまでの工程をまとめて行う
- 製品に触れる回数も減って、品質が向上した。



<カイゼン事例①>サンマ下処理工程（その2）

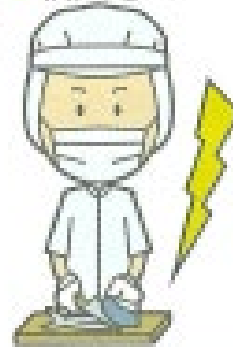
その2 処理の仕方が人によって違う ベテラン、新人では作業の違いがある

着眼点

- 処理量や作業時間に、個人差がある。
- 品質が安定しない。

NG

新人さん



ベテランさん



×遅いな～

×切り方が
違うわ

標準作業を決めた 作業順序を統一し、カットサイズの寸法シートを作った 「標準作業」詳細はP49

効果

- 作業時間や品質にバラつきが少なくなった。
- 余分な切り落としがなくなり、これまで廃棄していた部位を製品化できることが分かった。
- 工具(包丁)の切れ味によっても、作業が遅くなることが分かり、手入れが必要なことに気づいた。

○見本を確認しながら、切り方も統一!



<カイゼン事例①>サンマ下処理工程（その3）

つないで、ひろがる。



その3 不要な入れ替え、運搬をしている

切った製品を大きなカゴに入れて、2人で運んで、その後小さなカゴに入れ替えて洗浄する。

着眼点



- 切った製品を洗浄するために、大きなカゴから小さなカゴに移し替えていた。
- 大きなカゴの持ち運びに2人で対応していた。
- 大きなカゴの上げ下げが負担になっていた。

NG



×重いので2人で運ぶ



×洗浄のため、入れ替え



動作・運搬のムダの改善 「7つのムダ」詳細はP50

切った製品をそのまま洗浄カゴに入れ、小ロットで繰り返し作業にした。
製品を入れるカゴは、作業台の高さまで上げることで入れやすくした。

効果



- 小ロットの繰り返し作業をすることで洗浄時間を短縮でき、生産リードタイムの短縮になった。
「生産リードタイム」詳細はP49
- 製品を別のカゴに入れ替える時間を短縮できた。
- 大きなカゴの上げ下げが減ったため、重筋作業が削減された。

○1人で持ち運びしやすい大きさのカゴに変更



カイゼンを行った結果！！

- ◎1尾あたりの処理時間が約10秒短縮 (改善前)34.8秒→(改善後)24秒**31%生産性向上**
- ◎持ち運びやカゴの入れ替えが減ったことで、床とカゴの清掃時間が**10分短縮**
- ◎工場全体が**キレイになった**

<カイゼン事例②> マグロ加工品袋詰めライン（その1）

つないで、ひろがる。



工程

①袋作り

②袋入れ

③計量

④ならし方

⑤機械投入

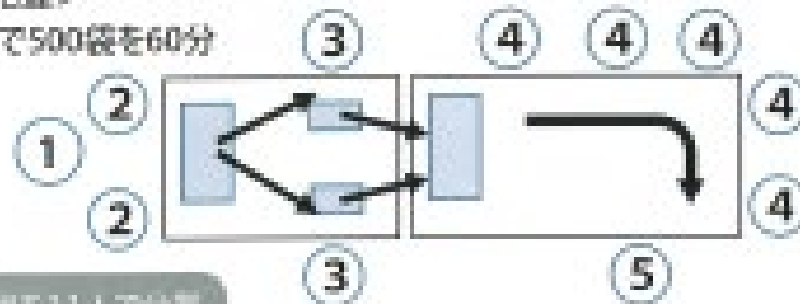
その1

分業しているため人や仕掛りが多く作業スペースが狭い 「分業」詳細はP46

- 作業テーブルの上に仕掛りが多くある。「仕掛け」詳細はP46
- 次の作業のために製品の受け渡しをしている人がいる。
- 作業を待っている人がいる。

<現状の把握>

現状11人で500袋を60分



5つの工程を11人で分業



工程	①袋作り	②袋に入れる	③計量	④ならし方	⑤機械に投入
人数	1人	2人	2人	5人	1人
平均	3秒	11秒	10秒	10秒	2秒

手扱い時間
合計42秒

手扱い時間とは… 実質的な加工作業のみに要する時間をいり、手待ち時間、移動、取り置きなどの「付加価値を生まない行動」を除いた時間のこと。

着眼点



公益財団法人

みやぎ産業振興機構
Miyagi Organization For Industry Promotion

<カイゼン事例②> マグロ加工品袋詰めライン（その1）

つないで、ひろがる。



工程 ①袋作り・袋入れ ②計量・ならし方 ③ならし方・機械投入

サイクルタイムから必要人員を算出した結果、11人の作業が6人に 「サイクルタイム」詳細はP49

タクトタイムは

$$\frac{\text{稼働時間}}{\text{生産必要数}} = \frac{60\text{秒} \times 60\text{分}}{500\text{袋}} = 7.2\text{秒}$$

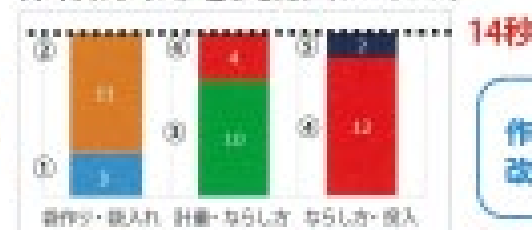
必要人数は

$$\frac{\text{手扱い時間の合計}}{\text{タクトタイム}} = \frac{42\text{秒}}{7.2\text{秒}} = 5.8\text{人} \approx 6\text{人}$$

ムダのない作業にすれば、6人で対応できると見込める！



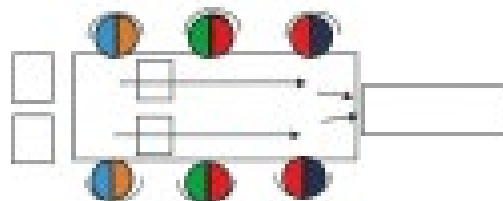
〈サイクルタイムに合わせたラインバランス〉



作業時間を14秒に揃えて改善案の検討！

計量をした後、次の作業者のタイミングに合わせて、ならし方をできるところまで行う。

〈改善案〉
1個流し: 3人×2ライン化



ポイント 作業を多工程持ちにした！ 「多工程持ち」詳細はP46

工程	①袋作り ③袋に入れる	③計量 ④ならし方	④ならし方 ⑤機械に投入
人数	2人	2人	2人
平均	14秒	14秒	14秒
合計 42秒			

手扱い時間は同じだが、「付加価値を生まない行動」が減ったため5人の省人化になった。 「省人化・省力化」詳細はP51

効果



<カイゼン事例②> マグロ加工品袋詰めライン（その2）

その2 付加価値を生まない動作が目立つ 「7つのムダ」詳細はP50

つないで、ひろがる。



着眼点

- 1つの製品に触れる回数や人数が多く、手数が多。
- 作業現場に原料やトレイなどを大量に並べて置く。
- 製品を持ったり、置いたり、運んだり、製品の移動が不規則で整然としない。
- 使用する道具を別の部屋まで取りに行く。
- せわしく移動する人がいる。



改善の考え方を徹底 付加価値を生む作業と生まない作業を見極め、改善を実践しよう!

効果



- 製品は… **つかんだら離すな!** 多工程持ちに改善!
- 大量の原料や包材を作業スペースに置くことは…
作業スペースのムダ! 重ねたり、寄せたり、戻したり、無駄な動きが発生!
- 単なる歩行・移動は… **仕事をしていないのと同じ! 付加価値を生む作業に改善せよ!**



公益財団法人
みやぎ産業振興機構
Miyagi Organization For Industry Promotion

カイゼンを行った結果！！

- ◎作業人員11人→6人 活人を5人生み出すことができ**45%改善**！
- ◎作業スペースの削減
- ◎準備時間(仕掛りを冷蔵庫に運ぶ時間など)**10分短縮**で、休み時間を確保できた。

トヨタ自動車東日本（株）による異業種相互研鑽活動

つないで、ひろがる。



活動体制

トヨタ自動車東日本（株）

- ・ 現地調査、ヒアリング
- ・ 生産現場での助言、提案
- ・ 5S、困り事対応・改善、標準化など

4 者間で
覚書を交換

宮城県

- ・ トヨタ自動車東日本(株)との連絡調整窓口
- ・ 活動費の支援等

みやぎ産業振興機構

- ・ 研鑽先企業との連絡調整窓口
- ・ 活動サポート

異業種 研鑽活動

研鑽先企業

- ・ 課題抽出
- ・ 体制づくり
- ・ 改善策の検討、トライ

2 年後には、
フォローアップ
活動を実施！！



公益財団法人

みやぎ産業振興機構

Miyagi Organization For Industry Promotion

異業種相互研鑽活動（例）

つないで、ひろがる。



改善前

工程

①必要資材を「探す」

②資材の持ち出し

資材倉庫に物が多くあり、必要なものをすぐに取り出せない

着眼点

- すぐに使わない発泡スチロールが高く積まれている。
- すぐに使わない段ボールが乱雑に積まれている。
- 外に見えているダンボールの表記と、中身が一致しない。

NG

すぐに使わないものが溢れかえっているため「探す」ということが
当たり前になっている



改善後

工程

①資材の持ち出し

整理整頓(2S)を行い、何がどこにあるのかを一目でわかるようにした 「2S・5S・7S」詳細はP48

効果

- ・資材を探す手間が少なくなった
- ・資材在庫の管理がしやすくなった。

ポイント

- なるべく積み上げた並べ方はしない。資材も
先入れ・先出しを意識する。「先入れ・先出し」詳細はP46
- 発注点管理を行い、必要数以上のものを持た
ないようにする。「発注点管理」詳細はP48



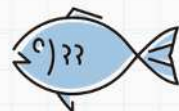
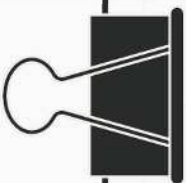
カイゼンを行った結果!!

◎探す時間の短縮

3分/回 ⇒ 1分/回 (▲2分/回)

1日平均:20回 ⇒ ▲40分/日

◎在庫の管理がしやすくなった

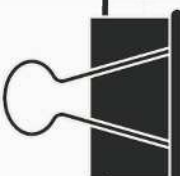


新商品を試食会に出品！

商品開発に取り組む事業者の募集

2025年6月24日

公益財団法人 水産物安定供給推進機構



01

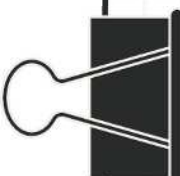
募集の概要

- 食べればおいしいのに食用として利用されていないお魚。
- 環境変動で地域ではあまり利用されていないお魚。
- 大量に水揚げされるが安価に取引されているお魚。
- 普段加工して商品化しているものの、頭や尾、骨などはお金を払って廃棄物として処理している低利用部位。
- 自信をもって開発した商品だが、思ったほど売れていない水産加工品。

・
・
・

課題のある水産加工品について、料理人や、バイヤー等が参加する試食会に出品し、具体的な意見やアドバイスを受けられるような機会を設けます。

今回、この試食会に出品いただける水産加工業者を募集します。



02

試食会の開催までの流れ

課題の把握

具体的な水産加工品の現状確認、課題の把握のため担当者を現地の加工場等に派遣します（現地調査）。担当者には、良いところ、悪いところ含めて正直に現状を話していただければと思います。

サンプル商品の送付

現地調査にて選定した水産加工品について、まずは試食会実施のためのサンプル品を指定の場所に送付していただきます。
※サンプル商品代、運賃は安定機構が負担。

試食会への出品

送付いただいたサンプル商品の内容で問題ないと判断されたら、料理人等が複数参加する試食会に出品していただきます。商品について、具体的なアドバイスを受けます。
※商品代、運賃は安定機構が負担。

フィードバック

試食会の結果、意見やアドバイスについては、本格的な商品開発の一助となるよう、必ずフィードバックいたします。
※こちらからの提案はあくまでもアドバイスであり、必ずしも対応いただく必要はありません。

03

応募情報について

① 応募期間

令和7年度6月24日（本日）から、
7月11日（金）17時まで

② 応募方法

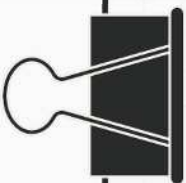
公益財団法人水産物安定供給推進機構HP
Google formまたは
応募用Excelファイルをメールで提出

③ 採択者への連絡

応募期間終了後、審査員による書類審査を経て、
採択者にはメールにてご連絡します。
今回は10件程度の採択を予定しています。

応募様式

団体名	
代表者 役職・氏名	
業種	
取扱量・従業員数	
担当者 役職・氏名	
担当者メールアドレス	
担当者 電話番号	
担当者 FAX 番号	
①対象としたい水産物、水産加工品等	
②①を選定するにいたった誤選と理由	
③①の良い点・悪い点	【良い点】
	【悪い点】
アピールポイント	



ご応募お待ちしております。



↑ ↑ ↑ 水産物安定供給推進機構HPはこちらから ↑ ↑ ↑

+α

追加情報① 水産加工連携プラン支援事業について

持続可能な水産加工流通システム推進事業のうち

水産加工連携プラン支援事業

【令和7年度予算概算決定額 582（556）百万円の内数】

<対策のポイント>

国民への水産物の安定供給に重要な役割を果たす水産加工業が直面する原材料不足や人手不足、輸送能力不足、経営力向上といった課題の解決に向け、**生産・加工・流通・販売を含むサプライチェーン上の関係者や金融機関等の専門家との連携による水産加工・流通の取組を総合的に支援し**、水産加工業の生産力向上と持続性の両立を図ります。

<事業目標>

魚介類（食用）の年間消費量（39.8kg/人〔令和14年度まで〕）

<事業の内容>

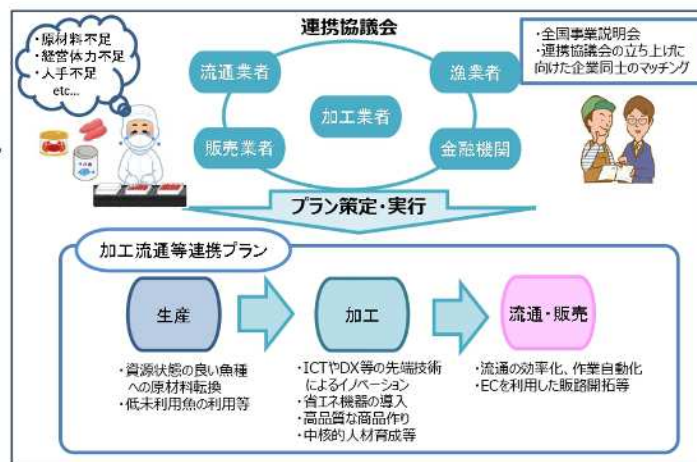
1. 加工流通等連携プラン策定支援事業

生産者、加工・流通業者、販売事業者、金融機関等の専門家による連携協議会の立ち上げや、連携協議会による水産加工・流通の課題解決に向けたプラン策定・審査・フォローアップ等を支援します。

2. 加工流通等連携プラン・スタートアップ支援事業

- 認定を受けたプランに基づく以下の取組を実行するために必要な経費を支援します。
- ア. 資源状態の良い魚種への原材料転換等により原材料不足に対処し環境負荷の少ない原材料調達を行う取組
 - イ. ICTやDX等の先端技術、高品質な商品作り等による生産性を向上する取組
 - ウ. 流通の効率化、新たな鮮度保持技術の導入、作業自動化等を通じて人手不足を解消し無駄のない持続的な供給体制を構築する取組
 - エ. その他持続可能な水産加工流通業の実現に資する取組

<事業イメージ>



<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 水産庁加工流通課 (03-3591-5612)

詳細は、
水産物安定供給推進機構
ホームページをご覧ください。



+α

追加情報② アドバイザー派遣について

水産加工・水産流通業を営む事業者・組合の皆様へ **派遣無料**

水産加工流通分野のアドバイザーに相談してみませんか？

相談内容に応じた専門アドバイザーに無料相談できます！

水産加工・流通分野の原材料・人手不足・経営体力の不足等の課題の解決に向けて、専門アドバイザーが相談に応じて、水産加工連携ブラン支援事業の活用等を助言致します。

主なアドバイザー

大学教授等経験者、専門コンサルタント、県庁等行政経験者、水産機器メーカー、水産会社、水産団体、MEL審査員、量販店水産バイヤー 等

申込の流れ

- 運営事務局にアドバイザー派遣を申請
- 相談内容に応じたアドバイザーとの派遣調整
- アドバイザー派遣の実施

お気軽に
お電話ください

(掲載内容イメージ)
加工技術、機器導入、商品開発、生産性向上・省力化、衛生管理、水産流通、原料調製、販路開拓、八次産業化、食育普及、漁業経営、輸出、企業間マッチング 等

お申込み・お問合せ先

(公社) 日本水産資源保護協会
<https://fish-jfrca.jp/renkei>
☎ 03-6280-5033 ✉ renkei@fish-jfrca.jp



水産加工業者等の皆様が抱えている課題の解決に向け、無料でご相談内容に応じた専門アドバイザーを派遣することができます。

お問合せ：公益社団法人日本水産資源保護協会
電話 03-6280-5033
mail renkei@fish-jfrca.jp

お気軽にお問い合わせください。

+α

追加情報③ 水産加工業者等の取組優良モデル集

水産バリューチェーン構築の取組
優良モデル集 概要版

令和6年3月

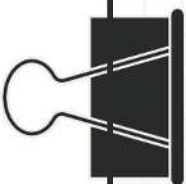
水産庁
・バリューチェーン改善促進事業
・水産物輸出拡大連携推進事業

作成（委託事業等）
公益財団法人 水産物安定供給推進機構
株式会社 水士舎

水産物の生産・加工・流通に携わる各段階の事業者が連携して、課題解決や販路開拓に取り組むことによって、各段階において価値（バリュー）の向上やコスト削減を実現した取組を紹介しています。

水産庁のHPよりダウンロード・閲覧が可能です。





水産加工業のための ヒント事例ウェビナー



↑ ↑ ↑ アンケートの回答はこちらから ↑ ↑ ↑